

## 【今更聞けない、、、CD 抗原とは????】

近年、実験アプリケーションの多彩化や、試薬の品質向上、フローサイトメーターの性能の向上と低価格化の後押しもあり、フローサイトメーター実験はかなり広範囲に行われるようになってきました。しかし、日本ではフローサイトメーター実験を基本から学ぶことのできる環境はまだ少なく、ラボの先輩や先生から何となく教えてもらった実験手順の意味を理解しないまま、実験操作をこなさざるを得ないケースもあります。

フローサイトメーター実験を行っていて、よく聞く言葉だけれどもなんだかよくわからない、けれども今更聞けない、そんな用語や手法などをご紹介したいと思います。

### ■ CD 抗原

まず、CD とは Clusters of Differentiation の略です。

この分類法は、実はモノクローナル抗体ごとに審査・認定されるもので、各クローンのモノクローナル抗体がどの抗原を認識しているかを確認し、その抗原が新しい場合には、新しい CD 番号が振られます。

この分類は、ヒト白血球分化抗原に関する国際ワークショップ（Human Leucocyte Differentiation Antigens (HLDA) Workshop）によって決定されており、このワークショップは現在も継続して開催されています。

1982 年フランスのパリで、第一回国際ワークショップが開かれてから現在まで 10 回のワークショップが開催され（2019 年 4 月時点）、CD371 まで割り振られています。

実は先日、第 11 回国際ワークショップの開催決定という情報が公開されました。

今回のワークショップでは、G たんぱく質共役受容体（G protein-coupled receptors）に焦点が当てられるということで、これにより更なる免疫システムの理解に期待が寄せられます。

現在 CD371 まで振られている CD 番号が何番まで増えるか、密かに注目です。

第 11 回国際ワークショップ開催のお知らせ

<https://isac-net.org/news/447346/Submission-of-Monoclonal-Antibodies-to-HLDA11-Workshop-Now-Open-.htm>

HCDM（Human Cell Differentiation Molecules）ウェブページ

<http://hcdm.org/index.php>

CD 分類チャートポスター（BioLegend）

[https://www.biolegend.com/media\\_assets/literature/images/04-0027-02hu\\_mo\\_web.pdf](https://www.biolegend.com/media_assets/literature/images/04-0027-02hu_mo_web.pdf)

各 CD 抗原に対する抗体製品検索（BioLegend）

<https://www.biolegend.com/cdchart>

TDB News 06.2019